

『私の地域のお祭り』

私の住んでいる射水市下地区の加茂神社には、「やんさんま」というお祭りがあります。豊作を祈願するお祭りです。毎年五月四日に行われる行事です。毎年、参道を疾走する馬の上から騎手が大弓を持って、的をめがけて矢を放つお祭りです。

毎年、たくさんの人達が加茂神社のやんさんまのお祭りを見にきています。やんさんまは昭和四十二年に重要無形民俗文化財にしていされている、昔からの祭りの姿を伝承しているお祭りです。私が小さな頃から親しんできたやんさんまのお祭りが、昔からの伝統を守り受け継がれてきているということにおどろくとともに、自分が住んでいる地域のお祭りが伝統を受け継がれているということが、とてもほこらしく思います。

また、やんさんまのお祭りで騎手が放った矢が落ちると、大人も子どもも集まり、すぐに矢を拾いに行きます。拾った矢を神棚に供えるという風習があります。おじいちゃんに聞いてみると、おじいちゃんが子どものころは、騎手が放った矢が落ちると、周りの人達が一斉に拾いに来て、ほとんどの矢は折れてしまっていたそうです。私は、今まで矢が折れてしまっているところを見たことがなかったので、おじいちゃんの話をおどろきました。昔は、今よりたくさんの人が見にくくて、みんな矢をとれるように一生けん命だったのかなと思いました。

最近では、新型コロナウイルスのえいきょうで、加茂神社で行われている行事に参加することができなくなりました。ウイルスの拡大を防止するためには仕方がないことですが、自分の地域の大切なお祭りに参加できないのはとても残念でやしいことです。今年も新型コロナウイルスが収束して、やんさんまがおこなわれるように強く願っています。今までは毎年加茂神社で行事が行われるということが当たり前に感じていたけど、小さな頃から親しんできたお祭りに参加できないのはすごくさみしいと感じました。また、一年に一度の楽しい行事を大切にしたいと思いました。

加茂神社の伝統あるお祭りをたくさんの方々知ってもらい、たくさんの人が見に来てくれたらいいなと思います。そして、私も地域の行事に積極的に参加していきたいなと思いました。